



# 神埼市 議会だより



下村湖人生誕133年祭(千代田東部小学校)

## 9月定例会

12月定例会は12月1日開会予定です

### 目次

補正予算の概要「これが聞きたいQ&A」	.....	P2~3
各常任委員会に付託された議案「Q&A」	.....	P4~5
意見書の紹介	.....	P5~6
各常任委員会及び特別委員会の視察研修・活動報告	.....	P6~7
一般質問(16名)	.....	P9~16
議会報告会の結果	.....	P17
議会の動き	.....	P18
平成29年度神埼市決算特別委員会の顔ぶれ	.....	P18
藤瀬議員追悼特集	.....	P19
編集後記	.....	P20

第44号

平成29年11月8日  
2017年

補正予算

# 平成29年度一般会計(補正第3号)

2億4,677万円を追加し

総額165億433万1千円となる

## 9月定例会

平成29年9月定例会は、9月1日～26日までの26日間開催され、一般質問には16人が登壇し、神崎市政全般について質疑を行いました。

一般会計補正予算の主な歳出では、明治維新150年記念さが維新交付金事業、新庁舎建設事業など2億4,677万円が追加され、総額165億433万1千円となりました。

### ■主な補正

主 な 事 業	補正額	事 業 の 内 容
明治維新150年記念さが維新交付金事業	506万7千円	①伊東玄朴生誕祭 ②神崎の偉人とその業績PR映像作成 ③神崎の偉人と偉業展
新庁舎建設事業	3,661万8千円	①神崎町保健センター等解体工事監理委託料 ②神崎町保健センター等解体関連工事請負費
神崎市地球温暖化対策実行計画策定業務	933万2千円	①公共施設の温室効果ガスの排出量調査 ②市役所庁舎内の環境配慮行動調査 ③省エネルギー診断結果と環境改善方法等の取りまとめ ④具体的な計画内容を検討、計画書の作成
神崎市地元購買力推進券事業	750万円	市内経済循環を向上させ地域及び地元商工業の活性化に資するため、プレミアム付き商品券を販売する
へき地診療所設備整備事業	346万1千円	①自動分包機の導入 ②薬剤監査支援システムの導入 ③低周波治療器の導入

# これが聞きたい！



## まちづくり市民活動支援事業 1,100 千円

(事業の目的) 市民の主体的な参画による、行政と協働したまちづくりへの取り組みを推進するため、市民団体が自主的に行う公益性のあるまちづくり活動に対し、補助金を交付して支援するものである。

**Q** 今回の補正によって、どれぐらいの団体が事業に取り組むのか。また、その事業内容はどのようなものがあるのか。

**A** 現在 19 団体に交付決定を行っているが、他にあと 7 団体が事業取り組みの意向を持っており、交付支援の必要がある。各団体の取り組み状況については、地区の特性を活かした活性化、子どもたちへの伝統行事の継承、地域を盛り上げるためのレクリエーション活動等がある。

## 明治維新 150 年記念さが維新交付金事業 5,067 千円

(事業の目的) 県では、県内市町との連携のもと、平成 30 年 3 月 17 日から平成 31 年 1 月 14 日まで、明治維新 150 周年を記念した『肥前さが幕末維新博覧会』を開催される。

この博覧会開催に合わせて、市では、幕末から明治・大正・昭和初期に神崎の発展や日本国内の各分野で活躍した人物を取り上げ、映像や展示パネル等を活用して、その偉業を内外に情報発信し、神崎市民としての誇りや本市への興味の醸成、来訪者の増加を図るものである。

**Q** 事業で作成された映像等は、今後、神崎情報館で発信予定とあるが、いつ頃、情報館を開設するのか。

**A** 現在、実施設計に入るための基本設計等の準備をしている段階で、平成 32 年を予定している。明治維新 150 年記念さが維新交付金事業で作成した映像等を情報館でも活用する。

## 私立・管外保育所等運営事業費(国庫・県費)返還金 20,226 千円

(事業の目的) 保護者の労働や疾病等の理由により、家庭において保育ができない児童や教育を受けたい児童を保護者に代わり児童福祉の向上を図ることを目的として、私立・管外(市外)保育所等や認定こども園にて保育・教育の実施を委託する。

**Q** 私立・管外保育所等運営事業費(国庫・県費返還金)について、事業費の見込額と実績額の差が生じた原因は何か。

**A** 2 月補正で昨年度の実績に 2% 上乗せして算定をした中での減額補正を行った。その後、加算率の付加対象が多くなることが見込まれたため、余裕をもった中で変更申請を行ったことにより、結果的に国庫、県費返還が大きくなっているような形になっている。

## 療養給付費及び特定健診等(国庫・県費等)返還金 51,610 千円

(事業の目的) 市民の安心・安全で質の高い医療が受けられる体制を確保し、国庫・県費等各種医療給付の充実と、予防事業に重点をおいた特定健診等を実施し、国民健康保険財政の健全な運営に取り組むものである。

**Q** 特定健診の受診率について、厚生労働省が示している目標及び神崎市の実績は何%か。

**A** 厚生労働省が示す目標は 60% であり、神崎市の実績は平成 28 年度は 36% である。



各常任委員会のQ & A

総務常任委員会

《議案第49号》(賛否:全員賛成)  
神崎市長等の給料月額の特例に関する条例の制定について

総務企画部

Q

市職員の源泉所得税納付の遅れにより347,500円の不納付加算税が発生した件で、市の損失分を関係職員が一部自主返納したということだが、今後金額が大きくなった場合もさせるのか。

A

市職員の公務上の違法行為により市民に損害を与えた時は、基本的には市が損害賠償を負う。その上で、法令により市は市職員の故意又は過失により、損害額の全部又は一部の支払いを求めることになる。  
今回のように法令に基づかない自主返納を受けるかどうかについては、状況や内容、市職員の違法性、損害額の大きさなどケースごとに考える必要があると思う。

産業建設常任委員会

《議案第50号》(賛否:全員賛成)  
神崎市営住宅管理条例の一部改正について

産業建設部

Q

今までは認知症患者の方にも申告を義務づけられていたが、実際に申告することができない方の場合は、現実的にどのようにされていたのか。家族などが代理で申告されていたのか。

A

これまでは、全て申告してもらっていた。本人ができない場合は同世帯の方、親戚の方などが申告していた。今回の条例改正はその負担をなくすものである。



市営住宅 姉団地

## 各常任委員会のQ & A

### 文教厚生常任委員会

#### 《議案第51号》(賛否:全員賛成) 佐賀県東部環境施設組合の設立について

##### 市民福祉部

**Q** 脊振広域クリーンセンターの職員は、新しい施設ができた時の扱いはどのようになるのか。

**A** 職員については、新しい組織、処理場の職員数がどうなるのか、どこに委託するのか全く決まっていないので、その決定と同時に脊振広域クリーンセンターで働いている方たちが移れるのかどうかを確認したいと思っている。そこに移ることができる可能性がどれだけあるのかということになると、100%ではないということも現実の話である。



脊振広域クリーンセンター

**Q** 小森野地区からの反対があっているということで、スケジュールに影響はないのか。

**A** 反対されている地区については、基本は鳥栖市が説得にあたっているということで、現実には、その状況を見守るしかないと思っている。ただ、日程的にどうなのかというと、期限がきめられているので、スケジュールの期限の範囲内でと鳥栖市にお願いすることになる。



## 神崎市民の願いを意見書にして国に届ける

### 〈意見書第3号〉

#### 誰もが安心できる年金制度の実現を求める意見書(内容は抜粋)

公的年金は高齢者世帯収入の約7割を占め、約6割の高齢者世帯が年金収入だけで生活しており、老後の生活保障の柱となっています。

現在、年金の支給は隔月ですが、欧米諸国では毎月支給を実施しているところが多く、年金生活者にとって年金が毎月支給されることによって、月ごとの計画的な生活設計が成り立つことが期待されます。

特に、若者からの信頼を高めるためには、年金給付における世代間格差をこれ以上拡大させず、あわせて、将来的に持続可能な年金制度に改善することが求められます。

高齢者の生活を守るためにも地方自治法第99条の規定に基づき下記内容の意見書を提出します。

記

1. 年金の隔月支給を国際水準並みに毎月支給に改めること。
2. 年金支給開始年齢はこれ以上引き上げないこと。



## 賛否があった意見書を紹介します。

### 意見書第2号 佐賀空港及び暫定的な陸自駐屯地へのオスプレイ等の配備計画に反対する意見書

議案番号	議決結果	廣瀧	田原	西原	宮地	箕原	中野	藤瀬	野口	野副	白石	原口	山田	山口	木原	松本	永沼	福田	佐藤	片江	原
		恒明	和幸	正剛	明	忍	均	光正	英樹	芳昭	昌利	ひさよ	一明	義文	憲治	軍二	彰	清道	知美	護	信義
意見書第2号	否決	△	×	×	×	×	○	△	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○

**〈議案に対する反対討論〉 松本 軍二 議員** 我が国周辺を取り巻く環境のもと、安全保障会議の答申に基づき「国家安全保障戦略について」を閣議決定されました。安全保障上の課題や不安定要因は、より深刻化しております。

オスプレイの配備先として、様々な運用事情から佐賀空港が配備先として、最適の飛行場であると判断されております。安全保障体制の構築のため、漁業者に対しては、諫早湾干拓事業など、公共事業への不信感を払拭するため、真摯な努力を見聞しております。

**〈議案に対する賛成討論〉 佐藤 知美 議員** オスプレイは欠陥機だと言われ、世界各地で重大な事故を起こしています。

最近の大分の事故の場合は、共産党の調査団の聞き取りに対して、米軍関係者は、「火をまくような、こんな事故は日常茶飯事のことだ」と言っています。

賛成の第二の理由は、オスプレイ配備は地域経済に貢献するどころか平和な地域経済と生活環境を破壊する重大な政策だということです。日本一のノリ生産や世界の人々を招き行われているバルーン世界大会、格安航空会社の佐賀空港への誘致と一体となった観光業への発展に重大なマイナス影響を与え、県内経済を壊すこととなります。

**〈議案に対する反対討論〉 野副 芳昭 議員** 事故に対する原因を徹底解明することは重大であり、県は県議会の受け入れ容認決議は「極めて重い」として「その意志を尊重したい」としたものの、「事故原因の報告」と「原因究明が無ければ計画の受け入れ可否の判断を示すことはない」と明言しています。漁業者の意見に対しては、「理解促進に努める」と今後も協議が進められると思われまます。

昨年4月の熊本地震などの大規模災害での救援物資の運搬などで貢献している事もあり、安全確保は最大の課題であり、県の対応を注視することが望ましいと考えます。

**〈議案に対する賛成討論〉 原 信義 議員** アメリカではオスプレイは未亡人製造機と言われており、州によっては上空を飛行させないという決議をしている。アメリカ海兵隊の殴り込み部隊の輸送を行う戦闘機であり、そのようなものを県都にもってくるのは重大な過ちである。大東亜戦争、第二次世界大戦での日本の敗戦を振り返ると、国策が常に正しいとは限らず、県民、市民の安全を脅かすものには断固反対するべきだ。

**〈議案に対する反対討論〉 田原 和幸 議員** 必要な理由としてまず、沖縄の基地負担の軽減が挙げられる。また、北朝鮮の脅威についても非常に危ういところにきており、専守防衛である以上、島しょ部に何かあったときには、輸送や速度の能力が高いオスプレイが必要であると考えます。様々な条件を考慮して佐賀空港への配備を計画されており、この意見書には反対する。

**〈議案に対する賛成討論〉 片江 護 議員** 反対の理由の一つとして、当初、佐賀空港には自衛隊を持ち込まないという約束がなされていた。また、諫早湾干拓事業を持ち込んだの駆け引きのような話もされており、混同するべきではないと考えている。



## 文教厚生常任委員会の研修報告

箕原 忍 委員長

文教厚生常任委員会は、7月4日、5日で行政視察研修を行った。4日は大阪府池田市において「かおテレビ」をテーマに研修を行った。「かおテレビ」とは、子どもの目線の動きを測定し、子どもの発達傾向を把握するもので、1歳6ヶ月児健診と併せて、任意で測定されている。結果については、カウンセラーが分析して保護者へ伝える。客観的なデータとなるため、普段自分が子どもに感じている発達傾向と照らし合せ、子育ての手助けになり、保健師や保育士と測定結果を基に話し合い良好な関係を築くことができる。一方で300万円程度の費用がかかり、カウンセラーについては、特別なプログラムを受講した者しか行うことができず、新しい事業で全国的にも事例が少なく、十分



かおテレビを体験(池田市)

に検証していく必要がある。7月5日は泉大津市において「不登校対策」をテーマに研修を行った。泉大津市では第三者による訪問型家庭支援組織「スマイルサポートチーム」を設置。家庭環境の複雑・多様化を原因に不登校等、様々なトラブルが起きており、教員の多忙化により各家庭へ十分な指導を行うことができない現状があり、今後は人員確保が課題となるが、訪問型の家庭支援は非常に有効になるといえる。

## 産業建設常任委員会研修報告

藤瀬 光正 委員長

7月13日から14日にかけて、大分県臼杵市及び中津市で行政視察研修を行ったので報告する。臼杵市では「有機農業の推進」をテーマに視察研修を行った。同市は、安全な農産物の提供のため、完熟堆肥「うすき夢堆肥」を製造する「臼杵市土づくりセンター」を開設。「うすき夢堆肥」などで栽培した農産物を市長が「ほんまもん農産物」として認証し、付加価値の高いブランド商品として販売されている。「有機野菜」や「給食」をキーワードに臼杵市へ移住される方もいるとのことで、定住対策にも繋がっているようであった。次に中津市では、「6次産業プロジェクト」をテーマに視察研修を行った。同市は、平成23年にJ.A、漁協、商工会等を構成員と



視察の様子(中津市)

して、「なかつ6次産業創生推進協議会」を設置し、各産業の連携による商品の付加価値や所得の増加、雇用の増加等を目的として、6次産業化の取り組みを支援している。また、中津市内の農林水産物を活かして生みだされた6次産業品を、広く市内外の消費者に対して販売及びPRするため、「中津市6次産業推奨品」として認証する工夫もされており、農山漁村地域の活性化を図る努力をされていた。

## 議会改革検討特別委員会の活動報告

山口 義文 委員長

8月2日の委員会では、7月25日に区長会から提出された「神崎市議会議員定数の削減等」に関する要望書について協議を行った。

要望としては、議員定数を適正規模とし、議会基本条例の制定を求めるものである。議員定数に関しては、地方議会の果たす役割と責任が大きくなっている背景を踏まえ、慎重審議のため、継続して協議していくこととした。議会基本条例については、これまでの経過を踏まえ、9月12日の第2分科会で協議していた。分科会では、「任期が残り少ない中で性急に制定するのではなく、十分に時間をかけて議論するべき」等の意見が出され、改選後の議会で協議することとされた。

会では、まず、議会基本条例について協議し、第2分科会の結論どおり、改選後の議会において協議していただくこととした。次に、継続して協議を行っていった、「決算特別委員会における監査委員報告に対する質疑」については、事前通告を行ったうえで質疑を行うこととした。また、議員定数については重要な問題であり、再度委員から様々な意見を聴取し、議会としての対応について協議を行った。

9月15日の小委員会で協議項目を整理し、9月20日に委員会を開催した。委員



委員会の様子

## 神崎市まちづくり特別委員会の活動報告

山田 一明 委員長

去る9月21日に神崎市まちづくり特別委員会を開催した。委員会では執行部出席のもと、まず報告事項として7月20日に開催された「第13回脊振町複合施設建設検討委員会」及び7月21日に開催された「第3回千代田庁舎利活用検討委員会」へそれぞれに出席した委員から会議の状況報告を受けた。千代田庁舎利活用の市民アンケート実施方法や回収状況等について、質疑や空きスペース活用の意見があった。次に新庁舎建設事業で今後、執行部より12月議会定例会に工事費用関連の補正予算議案や条例改正議案を上げし、来年の3月議会定例会には建設工事の本契約に関する議案の上げを予定している旨の説明を受けた。また、協議事項として「まちづくりに係る視察研修」について協議を行った。今後庁舎利活用



脊振町複合施設建設予定地

や周辺整備等のまちづくりについて議論していくため、議会としては旧庁舎を活用した熊本県山鹿市の「鹿本市民センター」、及び「鹿中央市民センター」へ視察研修を行うことで決定した。今後の委員会として新庁舎及び脊振町複合施設建設の進捗に合わせ検証、千代田庁舎利活用や周辺整備も含めた全体のまちづくりについても調査研究していく。



仁比山地区周辺の環境を生かし積極的な整備推進を

答 可能性を探りつつ、検討を進めたい



藤瀬 光正 議員

議員 ダム関連の道路網整備は脊振、仁比山地区の発展の要。国の提示を待つのではなく、市の要望を早期にまとめ、国に提案を。

岸川産業建設部長 住民の関心も高く、重要な道路であることは認識している。関係各位との協議を進め、具体的な計画の提示について国と連携を図りたい。

議員 周辺整備として「遊学館」周辺は、店舗も増え観光客も多い。遊学館の利活用を再考し、更なる賑わいの創出を図りたい。また、「もみじの湯」は市内外で利用料金の差を設けている

が、市外からの利用客を増やす取り組みの検討を。以前も指摘したが、施設設備に対し浴場が狭く、泉質も以前の施設時代より悪くなった。利用者の目線で再度検討し、加えて宿泊施設等の整備を一体的に行えば恵まれた景観と地域資源で仁比山地区は観光の拠点となる。

市長 市内に宿泊施設が欲しいと思っっているが需

要が弱い。年間を通じ神埼に訪れる方を増やす取り組みができる所から始めたい。

巡回バスについて

議員 巡回バスは導入後3年が経過したが利用が低迷している印象だ。交通弱者の利便性向上のため、改善と試行を重ねていただきたい。

志岐総務企画部長 必要に応じ検証を図る。



市内を走る巡回バス

県単一化で国保の構造的矛盾は解決できるのか

答 そこは何とも言えない



佐藤 知美 議員

議員 県単一化によつて市町、被保険者に対し、現行とどのような違いが生じてくるのか。

深堀市民福祉部長 市町

保険者が現行と変わるところは、保険税の決定方法です。これまでは市町が医療費を推計し、保険税を決定していたが平成三十年度以降は、県が医療費水準や所得水準を考慮して、市町ごとの納付金の額と標準保険税率を示し、その上で市町が税率を決定することになる。また、財政運営の責任主体が県に移行するため、保険税を国保事業費納付金として県へ納付し、保険給付に必要な費

用は県から交付を受け、保険給付費を支払うことになる。被保険者については、現行と大きく変えることはない。

議員 県単一化に向けて、市町の担当者会議が開かれているが、議論の中心、市町での課題をどのように捉えているか。

市民福祉部長 県単一化に向けての議論の中心に、直接被保険者に関係する納付金額及び保険税率がある。

議員 平成三十年度からの県単一化で国保の構造的矛盾は解決できると思うか。  
市長 改善ができるか、そこは何とも言えない。



### 河川の安全対策について

答 城原川につきましては、ダム事業と共に国・県に要請します



片江 護 議員

### 城原川の河川整備について

議員 平成29年度の神埼

市水防計画書によれば、千代田町柴尾橋下流の両岸は、降雨出水時において堤防から水があふれる又は、決壊等により、水防活動が予想される箇所となっている。堤防幅が2～3m未滿と狭いところもあり、地域の方々が、いつ決壊するか不安を抱かれています。

す。特に急務と判断される箇所への河川整備は、

岸川産業建設部長 議員



改修が待たれる城原川下流

点検が必要な箇所ということで河川管理者であります国の方で指定されております。議員ご指摘の、柴尾橋下流の両岸の整備につきましては、堤防の嵩上げ・拡幅を行う箇所と位置づけられております。国の方からは今後、筑後川水系全体として背後地の状況や堤防の状況等を踏まえ、優先順位等を判断しながら検討すると伺っておりますが、このような実態を十分に国・県に治水対策を早急に、確実に行われるよう強く要請してまいります。

### 今年作成したハザードマップ、改訂版の違いは何か

答 北部版、南部版とハザードマップを2つに分けた点です



永沼 彰 議員

議員 地球温暖化の影響による集中豪雨が頻繁に発生している。時間雨量100ミリ以上の降雨に対する備えも十分注意が必要。改訂されたハザードマップについて伺います。

区域等の調査が実施されました。神崎市では平成27年度に調査が終了し、県による指定も終り、今回の改訂にあわせ表示を行ったところです。3点目は北部版、南部版と分けることで地図の縮尺を拡大し、見やすくしました。

総務企画部長 国道26

4号千代田西部小学校前。同じく藤ノ木交差点西側約200mの位置の2ヶ所です。横断歩道のカラー化による効果につきましては鳥取県で実施されたカラー舗装に関するアンケート結果では回答を得たドライバーの2割が横断歩道手前では意識して減速するようになったとの回答を得ており、一定の効果が見込まれています。神崎市でも警察や道路管理者などと、研究を重ねてまいります。

### 交通安全対策について

議員 歩行者の安全対策としてカラー舗装の横断歩道を見かけるが神崎市内に何ヶ所あるのか。また、その効果は。



改訂したハザードマップ



市内経済活性化につながる観光政策の推進を

答 訪日外国人の誘客促進をはじめ、他市の成功事例を参考に策定



原 信義 議員

**議員** 現在、本市のGDP（市内総生産）に占める観光収入はどれだけあるのか。

**岸川産業建設部長** 佐賀県の統計データによると、平成26年度は874億3,400万円。観光収入額は7億3,200万円となっている（0.84%）。近隣同規模市町は鹿島市3.3%、小城市1.2%、吉野ヶ里町1.48%となっている。

**議員** 市内消費（販売）をふやす決め手は、国内外からの本市への観光客、来訪者呼び寄せの「仕かけの構築」にあると考えるが、そのための対策はどうしているのか。



吉野ヶ里歴史公園の観光客

**産業建設部長** 九年庵のパンフレットを英語版、中国語版、台湾語版と作成し、情報発信と受け入れ態勢の充実を図っている。また、8月には台湾

での佐賀県観光説明会に参加し、本市の観光・特産品のPR、旅行社との商談、観光セールスに努力。本市としては豊富な観光資源を楽しく回遊できる仕かけづくりを検討

する。

**議員** 鹿島市など先進地の経験を研究するのは大事。観光政策のグランドデザインを持つべきだと考えるが。

**産業建設部長** 他市町先進事例の研究、情報収集には努めている。グランドデザインは、市総合計画で今後10年間を見据えた計画を策定していきたい。

放課後児童クラブの制度改正による課題や問題点は

答 今後の人材確保が課題である



原口ひさよ 議員

**議員** 放課後児童クラブの必要性と期待が高まり、入所希望者数が急増し潜在的な待機児童が発生している。クラブの量の拡大、質的拡充が求められる中、市の放課後児童クラブの現状はどのようになっているのか。

**永原教育部長** 平成26年度に神崎市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を国に準じて制定した。平成29年5月1日現在の全体利用数は455人で市内の全児童数1,825人のうち約24.9%が利用している。中でも神崎小学校、西郷小学校は定員を上回る利用

があり、保育スペースの確保と支援員の確保に努め、待機児童の抑制と安全確保をおこなった。

**議員** 子ども・子育て支援制度により、放課後児童クラブ運営指針が策定されたことで、放課後児童クラブの制度はどのようになつたのか。

**教育部長** 放課後児童クラブガイドラインでは、最低基準を提示されていたが、今回の運営指針は全国的な標準仕様として提示されたものであり、策定を機に大きく変貌することはない。

**議員** 放課後児童クラブの制度が変わったことによる今後の課題や問題点はあるのか。

**教育部長** 子ども・子育て支援制度が実施され、待機児童問題の解消と保育の質の確保を図るため、指導員に対する専門資格、放課後児童支援員

が創設された。市においては現在19名が放課後児童支援員の資格を取得しており、平成29年度は4名が資格取得見込みである。

子どもとの安定的・継続的なかかわりが重要となつてくるため、支援員の雇用については長期的に安定した形態にすることが望ましく、今後の人材確保が課題である。また、支援員の処遇改善についても検討していきたいと考える。





脊振町複合施設利用の市民協議委員会設置について

答 公募などにより募集することを行ってみたい



白石 昌利 議員

募集することも一つの試みとして行ってみたい。公募は、事前に脊振町複合施設検討委員会に諮った上で実施する。

が、医師と協議検討していききたい。又、ITシステムについても医師と随時検討していききたい。

議員 脊振町複合施設にコンビニを誘致するのが地域活性化の核になる。

アンケート調査でも脊振町の方々はコンビニ等の導入を望まれているので、この事に関して脊振町（神崎市民）と市が一緒になって取り組んでいくことが大事。買い物弱者が利活用に便利になる事を協議していく委員会設置の考えを伺う。

中島庁舎整備課長 店舗の導入や買い物弱者の施設のあり方について、地域住民の方々の意見を拝聴することは有意義なことである。公募などにより住民の方に呼びかけ、一緒に考えて下さる方を

脊振診療所の運営について

議員 ITを活用した地域連携ネットワークの取り組みの状況と、脊振複合施設診療所でのITシステム導入の計画を伺う。

森田脊振支所長 県では、佐賀県診療情報地域連携システムの整備が進められている。脊振診療所では現在未加入である

が、医師と協議検討していききたい。又、ITシステムについても医師と随時検討していききたい。

その他の質問

- ・平成26・27年度定例会 一般質問答弁進捗状況
- ・合併特例債による普通交付税合併算定替え
- ・直鳥環濠クリーク公園の防犯対策
- ・民生委員の協力員制度構築の考え
- ・図書館運営（館長専任）の考えについて
- ・千代田中学校グラウンドの環境整備



神崎市立図書館の運営は市の直営でやるべきである

答 市の直営でやるかと考えている



福田 清道 議員

議員 庁舎建設に伴って、神崎市立図書館も中央公民館から旧農協会館の1階に移転する。この図書館の充実と運営については、民間委託ではなく、市が責任をもって直営とすべきである。また図書館が完成する平成32年度以降については、司書資格を持った正規職員を是非とも配置すべきである。

市長 今のところは、運営については市の直営でやるという考えである。またその段階になったら、図書館長は必要であり、それにかなうような形で進めていきたい。

7月の九州北部豪雨災害を教訓として

議員 朝倉市の事例では、扇状地帯での被害が多くあっている。神崎市の城原川でもその可能性はあるのではないかと。

岸川産業建設部長 仁比

山地区下流域で扇状地帯で扇状地帯が発達している。今回のおり、今回のような多量の流木が発生し、橋梁につまった場合は甚大な被害が発生すると思われる。想定される。

議員 市としてもこの教訓を生かすべく、関係者、職員を現地にや



九州北部豪雨の被害を受けた朝倉市の扇状地区内

市長 全職員が地域で活動できるよう、朝倉地区にも職員を視察させたい。

活力のあるまちづくりの活性化をどう図って行くのか

答 土地利用のあり方を勘案し、見直しを検討



中野 均 議員

議員 神崎市3町村合併時の約束である市周辺の千代田町、脊振町が衰退しないように取組んでいくと説明されていたが、周辺部市民は、市の施策・振興策が見えてこないとの意見があり、活性化策についてどう行っていくのか。

志岐総務企画部長 新市の進むべき方向は、神崎市総合計画に委ねられていることから、地域の実情に応じて広く公平に展開してきた。今後の活性化対策は、今までどおり市全体の均衡ある発展を目指すとともに、市民協働のまちづくりを継続していく。

議員 市の活性化策としては、平成23年に策定した神崎市国土利用計画の土地利用構想図を見ますと、農業区域を重点に置いた将来図になっているが、平成30年総合計画の策定が予定されており、土地利用の見直しを含めた検討を行うべきであると思う。市の考えは、宮地企画課長 市としては、千代田町に限らず、市全体及び地域ごとの人口動向や経済情勢などを踏まえた土地利用の方を勘案した上で、国土利用計画の見直しを検討したいと考

議員 市の活性化策としては、平成23年に策定した神崎市国土利用計画の土地利用構想図を見ますと、農業区域を重点に置いた将来図になっているが、平成30年総合計画の策定が予定されており、土地利用の見直しを含めた検討を行うべきであると思う。市の考えは、宮地企画課長 市としては、千代田町に限らず、市全体及び地域ごとの人口動向や経済情勢などを踏まえた土地利用の方を勘案した上で、国土利用計画の見直しを検討したいと考

議員 市の活性化策としては、平成23年に策定した神崎市国土利用計画の土地利用構想図を見ますと、農業区域を重点に置いた将来図になっているが、平成30年総合計画の策定が予定されており、土地利用の見直しを含めた検討を行うべきであると思う。市の考えは、宮地企画課長 市としては、千代田町に限らず、市全体及び地域ごとの人口動向や経済情勢などを踏まえた土地利用の方を勘案した上で、国土利用計画の見直しを検討したいと考

その他の質問  
・ 集落内の水環境改善策について  
・ 防災対策について

議員 市の活性化策としては、平成23年に策定した神崎市国土利用計画の土地利用構想図を見ますと、農業区域を重点に置いた将来図になっているが、平成30年総合計画の策定が予定されており、土地利用の見直しを含めた検討を行うべきであると思う。市の考えは、宮地企画課長 市としては、千代田町に限らず、市全体及び地域ごとの人口動向や経済情勢などを踏まえた土地利用の方を勘案した上で、国土利用計画の見直しを検討したいと考



旧千代田町土地利用（将来）図

九州北部災害では流木被害が問題視されたが対策は

答 国において慎重に検討されるものと考えている



木原 憲治 議員

議員 城原川ダムがいよいよ着手される事になるが、建設予定地は花崗岩地質のため風化した真砂土と併せて巨石や流木が流れ込む事が予想されるが対策は講じられているのか。

岸川産業建設部長 流水型ダムは河床部に放流孔があり、土砂、巨石、流木等により穴を塞ぐ事が予想され、ダム上流に流木などを捕捉できる施設を設けたり、穴にスクリーンを設置するなどの計画となっている。

議員 城原川流域は杉、檜などの針葉樹が多く植栽されているが、針葉樹は広葉樹に比べ根が浅く

大量に雨が降った場合、流木の原因とされる斜面崩壊が起こり易いと考えられる為、今後は森林整備と一体的に検討して頂きたいが。

吉田林業課長 森林整備については国、県の補助事業を活用し適正な森林の維持保全管理に努めていきたい。

議員 新幹線長崎ルートでは、フリーゲージトレインの開発の中、安全性・耐久性コストの面で開発困難な状況と聞いているが、安全面からフル規格化についての市の考えは。

志岐総務企画部長 国、県、JRなどの関係機関の動向を注視し、市内の極小踏み切り、遮断機や警報機のない踏み切り、段差のある踏切等安全性の向上を図っていきたい。

その他の質問  
・ 北ミサイルが飛来した時の対応と避難訓練実施計画はあるのか。  
・ 各地でJアラートの不具合が生じているが大丈夫なのか。  
・ 避難所に指定されている各施設の老朽化が進んでいるが整備計画はあるのか。





### 法改正に伴う非正規職員の処遇、待遇について

答 32年4月1日の移行に向けて研究に努めたい



田原 和幸 議員

規職員の人事評価は。佐藤総務課長 管理職は評価の目線を合わせる研修、内部情報交換を行い、今後の人事評価につなげて行く。

ふるさと納税について

議員 期末手当、ボーナス等について常勤職員の支給月数と同水準にする様に、という改正地方自治法が成立した。市民サービスの一翼を担う非正規職員の処遇について。

議員 高額返礼品に対する総務省通達があったらふるさと納税、市への影響と現況、今後の考え方について。

総務企画部長 返礼品の拡充を図り「ふるさとチョイス」への掲載を行い、寄附者の利便性が向上したことにより、前年度比、件数37倍、金額3・5倍の伸び率となった。

志岐総務企画部長 改正では一年度間の『会計年度任用職員制度』を新たに設け、正規職員との均衡を踏まえた給与水準の引き上げ、期末手当及び退職手当の支給など処遇改善がある一方で、規律、懲戒処分などの対象となり、財政負担が課題となります。

議員 経験やスキルアップして能力を上げた非正規

野中政策推進室長 総務省通知による返礼品の見直しを行い高額納税者への対応

を研究する。議員 全自治体が同じスタートラインに立った。寄附者の思いを大事に。政策推進室長 使途については寄附者の思いに沿った事業を展開していく。



地域の農林水産物品を主な返礼品としています

### 脊振勤労者体育館、空調設備の保守点検の必要性

答 研究し再度検討したいと感じている



野副 芳昭 議員

議員 脊振勤労者体育館は他の体育施設に類を見ない空調設備がなされている。地区住民の利用や地区以外の競技団体からも評判がよく活用されてきた。本年も酷暑の中毎年おこなわれる三神地区中学校総合体育大会が開催されたが、保守点検がされてなく使用できず生徒も関係者も残念な思いであった。保守点検しなかつたのはなぜか。

永原教育部長 施設全体の空調稼働の見直しを行い、脊振勤労者体育館の需要と供給のバランスに差があり今回稼働を見合わせた。

議員 脊振小・中学校の

体育施設だけではなく、避難場所にもなっている。災害時に長期に生活する場合も考えなくてはならない。空調機の使用ができず健康被害の可能性も考えるべきだが、住民に説明と責任をどのように考えているのか。

志岐総務企画部長 避難所において生活環境が良好で避難された方の状態や体調に沿った対応を考える。

2020年度からの市内小・中学校の英語教育の拡充

議員 図書館に英語の本の整備はできているのか。生徒や先生への対応は。

教育部長 すべての図書館に興味をもつ本を整備している。生徒は会話やゲームで楽しんでいる。先生には講習会を活用し、指導力を図っている。



設置されている脊振勤労者体育館の空調設備



目達原駐屯地へのオスプレイの暫定配備を心配するが

答 情報収集をして市民の安心・安全に努める



野口 英樹 議員

現時点において防衛省が目達原駐屯地に暫定配備を決定した事実はありませんし、県においても受け入れについての言及もされておられません。

今後、国において目達原駐屯地への暫定配備計画が明らかになった場合は、県と協議しながら、関係自治体として事前に協議を求めていくなどということも考えているところです。

集落内のクリーク(堀)整備について

議員 集落内のクリーク(堀)整備について現在、クリークの水質検査を行っているが、検査結果は、

深堀市民福祉部長 ク

リークの水質検査は、地区からの要望により、千代田町内で平成29年2月に7地区10カ所、29年1月と5月に神崎町内2地区6カ所で実施しており



沖縄の名護市沖で墜したオスプレイの様子

ます。結果については、神崎町については特に問題はありませんでした。千代田町については、検査箇所によって環境保全基準を上回っており、具体的には、pH(水素イオン濃度指数で一カ所、BOD(生物化学的酸素要求量)で二カ所あり、今回の調査による数値だけでの判断はできないため、継続的に同じ場所でも水質検査を実施します。また、他の地区からの要望があれば、水質検査を実施し、水の環境保全に努めていきたいと考えます。

災害発生時の人命被害ゼロへの取り組みは至上命題では

答 国・県関係機関と協議を行い見直しを図ること



山田 一明 議員

議員 土砂災害警戒区域内での避難場所は現状でよいのか。

恐れのある急傾斜地153カ所、5戸以上の民家があり、対策を要する53カ所の内崩落防止工事は完了した15カ所、市が工事の事業主体の場合受益者に一定の自己負担が生じる整備の必要性を理解して頂き整備が進むように努める。

遮断機も無い踏切りは神崎市内2カ所有り横武1号踏切り、下六丁地区の西田踏切りがある。踏切の改善についてはこれ迄も地区関係者及びJRと市においても踏切廃止又改良について協議を重ねているところなので解決に至っていない。

志岐総務企画部長 避難場所の安全性や二次被害の危険性等を確認した上で開設。脊振町の指定避難場所は8カ所。そのうち脊振中学校武道館、久保山消防詰所、鳥羽院山荘の3カ所は土砂災害警戒区域内にあり土砂災害では使用しない。他の施設は土砂災害警戒区域内であるが鉄筋コンクリート構造で安全である。

議員 急傾斜地の崩落防止整備率が低い状況と聞いているが危険箇所への整備対応は。

嶋建設課長 土砂災害の

議員 市管内にJR踏切りは13カ所ありその内11カ所は警報機遮断機が整った踏切りで問題なのは遮断機又警報機もない歩行者専用で危険な踏切りの改善をどの様に考えているか。

牛島防災危機管理課長 警報機も



横武1号踏切り

仁比山神社辺りから博多駅までトンネル掘ったら

答 莫大な事業費を要するから困難



宮地 明 議員

神崎市の農業施策

議員 個人、集落営農から農事組合法人に移行することの妥当性、問題点など、どう捉え、どうい

う方向に向けていっているのか。どうすれば将来の神崎市の農業はうまくいき、農民が幸せになつていくと考えているのか。

國廣産業建設部参事官

神崎市の水田農業は、集落が一体となった営農が展開されています。集落営農から農事組合法人に、法人化するに当たっての問題点としては、誰が



仁比山神社

リーダーシップをとっていくのか、法人化を検討する手法がわからない。

法人化したら農地が取り上げられる等と、法人化に不安を持たれている方がおられるなど、問題を

抱えてある組織もあると思われま

す。諸問題については組織内での十分な話し合いを持っていただき、市としても引き続き関係機関と連携しながら集落営農の法人化への支援を行ってまいります。

市民の生活について

議員 年金で暮らす人の暮らしについて、どう考

えたら、文化的な最低限度の生活が営めるのか。

家永福祉事務所長

年金の収入認定額が、国が定めた最低生活費認定額に満たないときに保護を受けられることとなります。

決算認定時期、公共施設管理、生活困窮者自立支援

答 施設の老朽化、長寿命化に向けた計画の策定



松本 軍二 議員

議員 公共施設の現況調査の方法と進捗状況の把握内容について。

平山財政課長

個別の管理計画は施設ごと策定「建設年度」「耐用年数」「老朽化の度合い」「維持管理費の推移」「利用者情報」「利用状況ニーズ」等を聴取し施設管理計画に反映させる。

議員 生活困窮者の支援制度が平成27年4月より開始、生活保護に陥る前の支援が目的であり取組状況は。

議員 前年度決算は、8月監査委員の審査、決算書に意見書添付9月議会に提出、11月決算委員会審議に付し、12月議会に認定、12月議会開会時は、次年度予算編成査定には終盤の時期であり、事業評価・市民の満足度等分析を反映するには9月議会認定を。

志岐総務企画部長

次年度予算査定に際しては、監査委員の指摘事項を反映しているが、9月議会認定は各事業所管の決定分析後の早い時期に課題整理が可能となり、予算への反映が容易となることもあり、9月議会への変更は議会側と協議す

家永福祉事務所長

自立支援事業は平成27年度より、佐賀県福祉社会へ委託実施している。事業種は必須事業である。「自律相談支援」「住宅確保給付金」「任意事業である「家計相談支援」「子ども学習支援」「子供の貧困連鎖の防止」に、取り組んでいる。



築後36年経過、海洋センター



# 平成29年度議会報告会の総括

## ○参加者数

- |            |          |     |
|------------|----------|-----|
| ・ 7月21日（金） | 脊振公民館    | 16人 |
| ・ 7月22日（土） | 神崎市中央公民館 | 10人 |
| ・ 7月30日（日） | 千代田支所    | 8人  |

## ○議会報告会運営会議での主な意見

- ・ 市民が議会に興味を持っていないようである。
- ・ 年々、市民の参加者が減っている状況で、報告会を行う意味があるのか疑問である。
- ・ 今回の周知方法に問題はなかったのか。口頭で周知することも必要ではなかったか。
- ・ やめることは簡単だが、続けることも検討してはどうか。
- ・ なぜ市民が来ないのかを考えて、市民が来るような仕組みを図るべき。
- ・ 小学校区単位で行えば、参加が増えるかもしれない。
- ・ 「議員と語ろう」のテーマを決めて行ったら良かったかもしれない。例えば、興味があると思われる新庁舎建設や葬祭場建設など。

## ○総括

今回の報告会で一旦終了とし、来年度以降の開催については、平成30年4月改選後の議員に委ねることとする。

### 脊振会場



### 神崎会場



### 千代田会場





《議会の動き》(H29年7月～9月)

7月4日～5日

文教厚生常任委員会 行政視察研修  
(大阪府池田市・泉大津市)

6日 議会広報編集特別委員会  
兵庫県小野市議会より行政視察

11日 全国市議会議長会基地協議会第88回理事  
会(東京都)

13日～14日  
産業建設常任委員会 行政視察研修  
(大分県臼杵市・中津市)

19日 防衛省全国情報施設協議会総会(東京都)

21日 議会広報編集特別委員会  
議会報告会(脊振町)

22日 議会報告会(神埼町)

30日 議会報告会(千代田町)

31日 議会広報編集特別委員会

8月2日 全員協議会

議会改革検討特別委員会

17日 総務常任委員会

佐賀県市議会議長会 議員研修会

18日 産業建設常任委員会

22日 文教厚生常任委員会

29日 議会運営委員会

9月1日～26日

平成29年9月第3回神崎市議会定例会

1日 全員協議会

6日 議会広報編集特別委員会

11日 議会運営委員会

12日 議会改革検討特別委員会 第2分科会

13日 平成29年度予算特別委員会

14日 産業建設常任委員会

15日 総務常任委員会

議会改革検討特別委員会 小委員会

19日 文教厚生常任委員会

20日 議会改革検討特別委員会

21日 神崎市まちづくり特別委員会

22日 議会運営委員会

第220回佐賀県市議会議長会正副議長会  
(嬉野市)

26日 全員協議会

平成29年度神崎市決算特別委員会の顔ぶれ

・平成28年度神崎市一般会計決算及び特別会計決算について議会の議決によって付議された事件を審査



委員長  
野副  
芳昭



西原 正剛



原口ひさよ



山田 一明



山口 義文



副委員長  
箕原  
忍



松本 軍二



福田 清道



片江 護

## 志半ばで……

市民の声を大切に、市民の思いを行政に、すみやすいまちづくりを目指された市民派の藤瀬光正神崎市議会議員が、去る平成29年9月30日、逝去されました。

在りし日の藤瀬光正議員について語って頂きました。



## 藤瀬光正議員の逝去を悼む

神崎市議会議長 廣瀧 恒明



藤瀬議員の突然の訃報に深い驚きと悲しみを禁じ得ませんでした。

あなたは、平成元年に神埼町議会議員に就任後、合併に至るまでの約17年間、町議を務められました。合併後の神崎市では初代議長として、その卓越した手腕と指導力により、現在の市議会の礎を築かれました。

ここに「議会だより第44号」をもって追悼するにあたり、先般の9月定例会において見事な一般質問をされた雄姿が昨日のこのように思われます。

私たちは、活気のある神崎市を築こうと奮闘されたあなたの情熱を引き継ぎ、今後とも市政発展に尽くすことをお誓いします。

## 故藤瀬神崎市議会議員を想う

神崎市議会元副議長 古賀 安行

平成18年3月20日、旧神埼町、千代田町及び脊振村が合併し人口3万4千人の神崎市が誕生。4月23日の選挙において26名の議員で議会がスタートした。翌朝玄関のチャイムが鳴った。「藤瀬光正です」、新生神埼の将来像を熱く語る彼に感化され、5月2日初議会で初代議長に選任され、真新しい議長席に凜として立ち、旧3町村の歴史を始めとして



地域の特徴を生かした「自然と歴史と人の輝く未来都市」を目指すと所信の一端を述べられ、思い出深いものとなった。いっしょに会派を組み市政発展に貢献され、目の前には新庁舎の軌跡を残し突然の訃報も必ずや後世に語り継がれるものと信じ。「故藤瀬光正を想う」

## 議会傍聴



千代田西部小学校



千代田東部小学校



千代田中部小学校

### 訂正のお詫び

議会だより第43号P8の「意見書第1号」の衆議院議長 伊達忠一殿とあるのは正しくは参議院議長です。

以上お詫びして訂正いたします。

### 編集後記

突然とも言える衆議院解散、激しく厳しい舌戦のスタート。

「物言えば唇寒し秋の風」

周囲を見渡せば、まさに実りの秋！コンバインとその集団がせわしなく収穫作業の真っ盛り。

「実る程 頭を垂れる稲穂かな」

今議会、市民の皆様にとって議会の議論が実りあるものだった！その確信を抱いています。判断は市民の皆様委ねるほかはありませんが……。この「議会だより」がその作柄を占う意味でもお役に立てば幸いです。

ぜひご一読ください。

頭を垂れてお願い致します。

(記 田原 和幸)

#### 広報委員会

委員長	野副 芳昭	委員	原口ひさよ
副委員長	原 信義	委員	田原 和幸
委員	白石 昌利	委員	永沼 彰